

第2 気候変動に伴う海面上昇への対応

○海岸における海面上昇へ対応の現状認識

- ・平成19年、IPCCが第4次評価報告書を公表し、温暖化の予測、影響、対策等について順次評価を報告。
- ・海面上昇や熱帯低気圧の強大化が予測されており、そのための適応策の重要性が指摘されている。
- ・平成20年、社会資本整備審議会が「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について（答申）」を公表し、外力の増大と国土・社会への影響、適応策の基本的方向及び進め方等を報告。

| 世界の21世紀末の平均気温上昇と平均海面水位上昇 | | |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| | 環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会 | 化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会 |
| 気温上昇 | 約1.8°C (1.1°C~2.9°C) | 約4.0°C (2.4°C~6.4°C) |
| 海面上昇 | 18~38cm | 26~59cm |

出典：気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次評価報告書を元に作成

